

LS13地方

受験番号

2012年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 商法

(60分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 商法

〔事例〕

非公開会社で取締役会設置会社である P 株式会社(以下、P 社という)の代表取締役 A は、同社株式を 20% 保有していた。平成 23 年 8 月 1 日に A が死亡したため、相続が開始した。相続人は妻の B、長男 C、次男 D、長女 E の 4 名であった(相続人らは P 社の株主でも役員でもない)。遺産分割協議は進展せず、決着する見通しは立っていない。P 社では、取締役会で代表取締役 F を選定した。以下の問いに答えよ。なお、各問いは独立のものとする。

〔設問 1〕

定時株主総会の時期が迫ってきたが、P 社は相続人らから権利行使者の指定の通知を受けていない。適法に株主総会を開催するには、P 社は、亡 A 保有株式について、どのように扱えば良いか。

〔設問 2〕

相続人に総会招集通知が送付されずに、株主総会の決議がなされ、F の友人が多数 P 社の取締役を選任されていたとする。これを不満とする相続人らのとりうる法的手段について述べよ。